



波野のキャベツを都市住民へPR!



波野地区で最も生産されている野菜といえば「キャベツ」。昭和30年代から栽培が始まり、現在は約180haもの肥沃な大地から、年間3,500トンが出荷され、販売高も2億8千万円（昨年度）と、伝統とその実績から阿蘇市のブランド野菜となっています。JA阿蘇波野支所（佐々木正純理事）では、波野のキャベツの美味しさをもっと多くの人に知ってもらおうと、キャベツ部会（岩下明部会長ほか20人）の協力のもと、初となる消費宣伝会を熊本市の住宅街で行いました。

キャベツのかき揚げや道の駅「神楽苑」オリジナルのキャベツドレッシングの実演販売を行い、一日でキャベツ1,120個を完売しました。今後もさらなる販路拡大を目指し取り組まれます。

マスターズ甲子園に鞭馬さん、下城さん出場!



鞭馬さん



下城さん

「マスターズ甲子園2010」（11月13日～）とは、全国の高校野球OB/OOGが、世代、甲子園出場・非出場、元プロ・アマチュア等の壁を超えて出身校別に同窓会チームを結成し、再び『甲子園球場』の舞台を目指す大会で、その大会に、県予選で優勝した鎮西高校OBチームのメンバー、鞭馬稔さん（内牧1区、24歳、投手）と、下城直也さん（西湯浦、23歳、内野手）が出場します。

高校生の時惜しくも踏めなかった夢のマウンド。今大会での健闘をお祈りします。

地元に住みながら初めて見た「波乗観音」



公民館内牧分館（高宮晴夫館長）が主催した第3回「歴史探訪・ウォーキング大会」が10月24日、田子山山麓・豊後街道沿線、約4km間で行われました。

参加者は公民館役員による説明案内を受けながら、弁財天、田子山稻荷、波乗観音、切通地蔵、日中坊主見物ポイントなど11ヶ所を巡りました。地元においてもなかなか見る機会の無かった遺跡や場所とあって、皆さん大変興味を持たれました。「地域にこんなすばらしい遺産がある、大切にしなければ」と、終了後は豚汁とおにぎりを堪能しながら探訪を振り返り会話が弾みました。

青年たちが夜渡相撲を奉納



農耕祭事、霜神社の火焚き神事が10月16日、59日間の火焚きを終え無事祭事が終了しました。この日は乙女上げの神事が行われ、続く18日の夜は、氏子（上役犬原、下役犬原、竹原）の人たちが集まり、夜渡の神事が行われ、青年たちによる相撲が奉納されました。

冷たい風が吹く中、霜神社境内の土俵で、地元の人たちの声援を受けながら、青年たちは力いっぱい取り組み、地域に代々受け継がれる夜渡相撲を立派にやり遂げました。